

# 地名を調べる

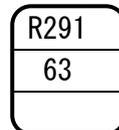
地名の読み方や由来について調べるときに便利な資料を紹介します。

( ) の中の数字は請求記号です。Rは辞典など(貸出できません)、Hは郷土資料です。

## <図書館にしている場所>

- 210—日本史
- 216.3—大阪府の歴史
- 291—日本の地理・地誌・紀行
- 291.63—大阪の地理

本の背に  
このようなラベルが  
ついています。これ  
を目印に探します。



## 1. 地名の読み方を調べる

『**日本地名大事典 上・下**』 吉田茂樹：著 新人物往来社：発行 2004年 (R291.033)

『**日本地名よみかた辞典**』 共立文化社：発行 2003年 (R291.03)

ふりがながふってあり、都道府県別、市町村別に調べられる。郵便番号を記載している。

## 2. 枚方の地名について調べる

『**枚方市史**』第2巻 枚方市史編纂委員会：編 枚方市：発行 (H216.3)

「枚方」の地名がいつから発生したかは明らかでないが、『日本書紀』の中の近江臣毛野おうみのおみけの妻の詠んだ歌の中には「比羅ひらかた駕か」と記されている。江戸時代には「枚方」と書いて「ひらかた」と読んでいたようである。

『**枚方市史**』 寺嶋宗一郎：著 枚方市：発行 (H216.3)

『**角川日本地名大辞典 27 大阪府**』 角川書店：発行 1983年 (R291.033)

古代から現代の地名とその由来がわかる。町名だけでなく山や川、街道、公園名でも探せる。市町村の合併などの沿革も載せている。

『日本歴史地名大系 28 大阪府の地名 2』 平凡社：発行 1986年 (R291.03)

はじめに河内国全体の歴史を概観し、枚方の村、寺や古墳の説明も載せている。

『大阪の地名由来辞典』 堀田暁生：編 東京堂出版：発行 2010年 (H291.63)

大阪府内の33市9町1村の地名の由来がわかる。住居表示として現在使用されている地名が、50音順に並んでいる。

『大阪府全誌 卷之四』 井上正雄：著 清文堂出版：発行 1975年 (H216.3)

大正11年刊の復刻。全7巻のうち、この第4巻の第3篇第3節が北河内郡の記述になっている。枚方町、川越村など合併前の町村の歴史について書かれている。

『大阪伝承地誌集成』 三善貞司：編著 清文堂出版：発行 2008年 (R291.63)

市町村別にまとめ、寺社縁起・遺跡・墓・碑・人物・地名・伝説・民話などを採集している。

### 3. 山や川の名前を調べる

『三省堂日本山名事典』 徳久球雄ほか：編 三省堂：発行 2004年 (R291.03)

山名、峠名、山脈・山地・高原など25,000項目を記載。  
標高、緯度・経度がわかる。

『河川・湖沼名よみかた辞典』 日外アソシエーツ：発行 2004年 (R291)

### 4. 難読地名などを調べる

『難読・異読地名辞典』 楠原佑介：編 東京堂出版：発行 1999年 (RR291.03)

『日本古代史地名事典』 加藤謙吉ほか：編 雄山閣：出版 2018年 (R291.03)

昔の国名(河内・摂津など)で東から西へ配列しており、現在の地名がわかる。郡名索引つき。

《お問合せ先》

枚方市立中央図書館 参考資料室

☎573-1159 枚方市車塚2丁目1-1

MAIL : [toshokan5-1@city.hirakata.osaka.jp](mailto:toshokan5-1@city.hirakata.osaka.jp)

TEL : 050-7105-8151

FAX : 050-7105-8152

「パスファインダー」とは、「道(path)」を「見つける人(finder)」という意味で、知りたいことを調べるのにどのように資料を探したらよいかを示す手引きのことです。